

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2016年4月22日）
運用方針	投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・米国トータル債券市場 E T F 先進国債券 i シェアーズ 世界国債（除く米国） E T F 先進国債券 バンガード・トータル・インターナショナル債券 E T F（米ドルヘッジあり） 先進国債券 i シェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F 新興国債券 バンガード・米ドル建て新興国政府債券 E T F 新興国債券 NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信 国内株式 i シェアーズ M S C I コクサイ E T F 先進国株式（除く日本） バンガード・F T S E ・エマージング・マーケット E T F 新興国株式 バンガード・リアル エステイト E T F グローバルリート バンガード・グローバル（除く米国）不動産 E T F グローバルリート
当ファンドの運用方法	■世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資します。 ■市場のリスク選好状況を定量的に捉え、資産配分を調整することにより、下方リスクを抑制します。 ■債券の一部について、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。
組入制限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年4月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

# 三井住友・DC世界 バランスファンド （動的配分型） 【運用報告書（全体版）】

（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

第 8 期  
決算日 2024年4月22日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
4 期 (2020年 4 月20日)	9,243	0	△ 8.5	49.7	1,462
5 期 (2021年 4 月20日)	10,035	0	8.6	87.3	1,832
6 期 (2022年 4 月20日)	10,183	0	1.5	89.5	2,222
7 期 (2023年 4 月20日)	10,088	0	△ 0.9	92.0	2,642
8 期 (2024年 4 月22日)	11,136	0	10.4	98.7	3,587

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

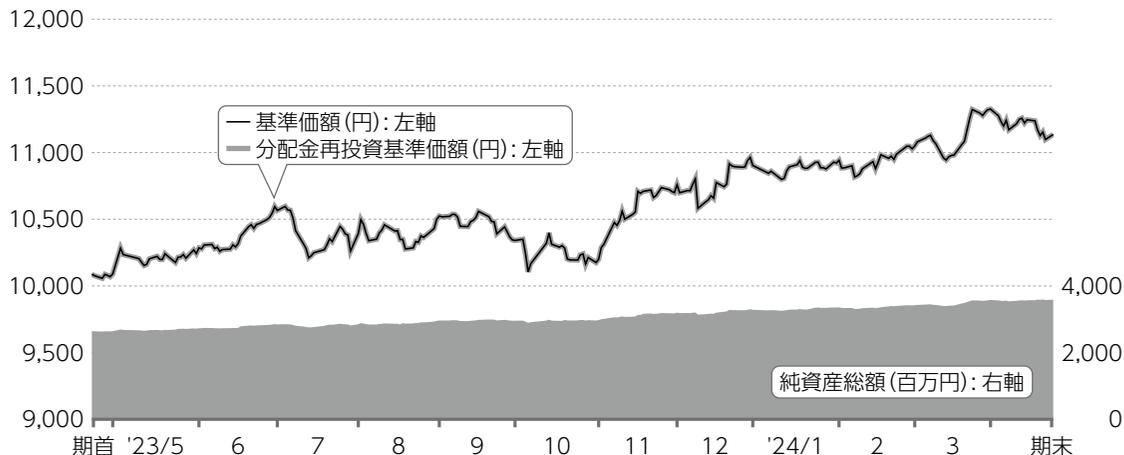
年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 率
	騰 落 率	率	
(期 首) 2023年 4 月20日	円	%	%
	10,088	—	92.0
4 月末	10,090	0.0	91.9
5 月末	10,285	2.0	91.9
6 月末	10,566	4.7	99.4
7 月末	10,393	3.0	98.5
8 月末	10,524	4.3	98.5
9 月末	10,341	2.5	98.7
10 月末	10,201	1.1	98.4
11 月末	10,759	6.7	98.3
12 月末	10,903	8.1	97.6
2024年 1 月末	10,942	8.5	99.0
2 月末	11,050	9.5	99.0
3 月末	11,326	12.3	99.0
(期 末) 2024年 4 月22日	11,136	10.4	98.7

※騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,088円
期末	11,136円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+10.4% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いました。株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 国内株式（NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信）が上昇したこと
- 外国株式（除く日本）（iシェアーズMSCIコクサイETF等）が上昇したこと
- 米ドルやユーロが円に対して上昇したこと

下落要因

- 先進国債券（バンガード・米国トータル債券市場ETF等）が下落したこと

投資環境について（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

内外の株式市場は上昇しました。債券市場では、日米の長期金利（10年国債利回り）が上昇（債券価格は下落）した一方、欧州（ドイツ）の長期金利は概ね横ばいとなりました。また、新興国債券市場は上昇しました。グローバルリート市場は一進一退となりました。為替市場では、米ドルやユーロは円に対して上昇しました。

## 国内株式

国内株式市場は、上昇しました。

期初から9月にかけては、国内企業の業績の底堅さや、海外投資家による日本株買い、日銀の金融緩和方針維持による円安の進行等を材料に、上昇基調で推移しました。その後は、米欧の長期金利の上昇や中東情勢の悪化、中国の景気減速懸念等が重石となり、2023年末まで横ばい圏で推移しました。

2024年1月以降は、円安のさらなる進行や東証の資本効率改善要請に対応する企業の増加、賃上げによるデフレ脱却への期待等から海外投資家の旺盛な買いが入り、大きく上昇しました。

## 国内債券

日本の長期金利は、上昇しました。

期初から7月にかけては、植田新総裁となった日銀が金融緩和政策の継続姿勢を示したことで、日銀の許容レンジ（ $0 \pm 0.50\%$ ）

の上限を下回る水準での推移が続きました。その後、日銀が7月と10月の金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の運用柔軟化を決定したことや、欧米金利上昇の影響等を受けて、金利は10月まで上昇を続けました。

年末にかけては、欧米金利の低下に連れて国内金利も低下しましたが、1月以降は日銀によるマイナス金利解除への警戒等を背景に再び上昇基調となりました。3月にマイナス金利解除が実施された後も、欧米金利上昇の影響等を受けて、国内金利の上昇基調は続きました。

## 先進国外国株式

先進国外国株式市場は、上昇しました。

米国株式市場は上昇しました。期初から7月にかけては、堅調な経済指標や企業業績等を背景に、上昇基調となりました。その後、長期金利の上昇や中東情勢の悪化等が相場の重石となり、10月にかけて軟調な動きとなりました。11月以降は、FRB（米

連邦準備制度理事会)の利上げ終了観測や金利低下等を背景に反転する中、企業業績の改善基調も明らかとなったことから大きく上昇しました。

欧州株式市場は上昇しました。期初から7月にかけては、グローバル景気への期待感等が相場の支援材料となり、底堅く推移しました。その後、欧米長期金利の一段の上昇等から、10月にかけて下落基調となりました。11月以降は、ECB(欧州中央銀行)の利上げ終了観測の高まり等を背景に反転する中、インフレ鈍化による早期利下げ転換への期待から欧州景気への悲観論が後退し、大きく上昇しました。

---

### 先進国外国債券

米国の長期金利は上昇した一方、欧州の長期金利(ドイツ10年国債利回り)は期を通じて見ると概ね横ばいとなりました。

米国では、期初より、FRBによる利上げ等の金融引き締めが進められたことから、金利は上昇基調で推移しました。11月以降、インフレの軟化等を受けてFRBの利上げ局面が終了して早期に利下げ転換するとの思惑から、年末にかけて金利は低下しました。1月以降は、景気の底堅さや根強いインフレ圧力が意識される中、早期利下げ観測が後退し、期末にかけて金利は再び上昇に転じました。

欧州では、期初より、ECBが利上げを

継続したことを受けて、金利は上昇基調で推移しました。11月以降は、ECBの利上げ局面が終了して早期に利下げ転換するとの思惑が広まったことから、年末にかけて金利は大きく低下しました。1月以降、金利は再び上昇に転じましたが、期末は期初と概ね同じ水準での着地となりました。

---

### グローバルリート

グローバルリート市場は、一進一退の展開となり、期を通して見ると概ね横ばいでした。

期初より、底堅い推移が続きましたが、8月から10月にかけては、米国の長期金利が一段と上昇したことや、中東での地政学リスク台頭によりインフレ再燃が意識されて金利の高止まりが懸念されたこと等から、下落基調となりました。11月以降、インフレ圧力の弱まりを示唆する経済指標の発表が続く中、米国の利上げ局面が終了するとの観測から、市場全体でリスクを取り込む動きとなり、年末にかけて大きく反発しました。1月以降は、根強いインフレ圧力等から米国の早期利下げ観測が後退する中、長期金利の上昇が重石となり、期末にかけてはやや軟調な動きとなりました。

---

### 新興国株式

新興国株式市場は、上昇しました。

期初から7月にかけては、中国政府の景気刺激策への期待や米国の堅調な経済指標等が支援材料となり、上昇しました。その後、中国景気に対する不透明感の高まりや、米国長期金利の上昇等を嫌気し、10月にかけて下落基調となりました。11月以降は、欧米中銀による利上げ終了観測の高まり等を背景に、先進国主導でグローバルにリスクオン（リスク選好）の動きが回復したことを受けて、新興国の株式市場も上昇しました。

---

### 新興国債券

新興国債券市場は、上昇しました。

期初より、欧米で金融引き締め長期化が意識された局面では下落する場面がありましたが、11月以降、欧米の中央銀行による利上げ終了観測の高まりとともにグローバルに株式市場が上昇する等、リスクオンの動きが強まる中、上昇基調で推移しました。

---

### 為替市場

#### ●米ドル・円

米ドル・円は、米ドル高・円安となりました。

期初から10月にかけては、FRBが金融引き締め姿勢を継続した一方で、日銀は緩和的な金融政策を維持したことから、米ド

ル高・円安基調となりました。その後、FRBによる利上げ局面が終了して早期に利下げに転じるとの思惑が高まったことから、年末にかけて米ドル安・円高に転じました。1月以降は、早期の利下げ観測が後退したことや、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を当面継続する考えを示したこと等から、期末にかけては再び米ドル高・円安基調となりました。

#### ●ユーロ・円

ユーロ・円は、ユーロ高・円安となりました。

期初から11月にかけては、ECBが利上げを継続した一方、日銀は緩和的な金融政策を維持したことから、ユーロ高・円安基調となりました。その後、ECBによる利上げ局面が終了して早期に利下げに転じるとの思惑が高まったことから、年末にかけてユーロ安・円高に転じる場面もありましたが、期末にかけては再びユーロ高・円安基調となりました。

ポートフォリオについて（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いました。株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

●資産配分

資産配分方針の変更時期については以下の通りです。

期初は、リスクオフ（リスク回避）局面への移行期との判断から、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%としました。その後、5月にはリスクオフ局面入りしたとの判断から、高変動ポートフォリオ0%、低変動ポートフォリオ100%として、6月下旬まで配分比率を維持しました。

その後、6月下旬には、リスクオン局面への移行期との判断から、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%としました。8月初旬には、リスクオン局面入りしたとの判断から高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%として、10月中旬まで配分比率を維持しました。

10月中旬には、リスクオフ局面への移行期との判断から、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%として、

11月下旬まで配分比率を維持しました。11月下旬には、リスクオフ局面入りしたとの判断から高変動ポートフォリオ0%、低変動ポートフォリオ100%として、1月初旬まで配分を維持しました。

1月初旬には、リスクオン局面への移行期との判断から、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%として、2月初旬まで配分を維持しました。

2月初旬には、リスク態度指数が上昇し、リスクオン局面入りしたと判断し、高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%として、期末まで配分比率を維持しました。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

### ●組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	ベンチマーク	期末組入比率
バンガード・米国トータル債券市場ETF	先進国債券	ブルームバーグ米国総合浮動調整インデックス	53.7%
iシェアーズ 世界国債(除く米国)ETF	先進国債券	FTSE 世界先進国債 キャップ・セレクト・インデックス	—%
バンガード・トータル・インターナショナル 債券ETF(米ドルヘッジあり)	先進国債券	ブルームバーグ・グローバル総合(米ドル除く) 浮動調整RIC基準インデックス(米ドルヘッジベース)	3.0%
iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建て エマージング・マーケット債券ETF	新興国債券	J. P. モルガンEMBI グローバル・コア・インデックス	2.9%
バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF	新興国債券	ブルームバーグ米ドル建て 新興市場政府債RIC基準インデックス	—%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	国内株式	TOPIX(東証株価指数)	23.7%
iシェアーズ MSCI コクサイETF	先進国株式 (除く日本)	MSCI コクサイ・インデックス	12.1%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	新興国株式	FTSEエマージング・マーケット・ オールキャップ(含む中国A株)インデックス	1.1%
バンガード・リアル エステイトETF	グローバルリート	MSCI US投資市場不動産 25/50インデックス	1.1%
バンガード・グローバル(除く米国)不動産ETF	グローバルリート	S&Pグローバル(除く米国) 不動産インデックス	1.2%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ベンチマークとの差異について(2023年4月21日から2024年4月22日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第8期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00%）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,809

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

市場のリスク選好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は足元で下落基調にありますが、リスクオン局面として判断出

来る水準を保っています。従って、現状では市場がリスクオン局面にあると判断しています。ただし、米国でインフレ低下と中央銀行による利下げに対する期待が後退していることから、リスクオフ局面に移行する可能性も十分にあると考えております。引き続き定量判断に基づき機動的にポートフォリオの配分比率を変更して参ります。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

### 1万口当たりの費用明細（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>96円</b>	<b>0.907%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は10,605円です。</div>
(投信会社)	(49)	(0.464)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(43)	(0.409)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>35</b>	<b>0.328</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(35)	(0.328)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>0</b>	<b>0.002</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>3</b>	<b>0.025</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b> 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(2)	(0.017)	
(監査費用)	(1)	(0.007)	
(その他)	(0)	(0.001)	
<b>合計</b>	<b>134</b>	<b>1.262</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

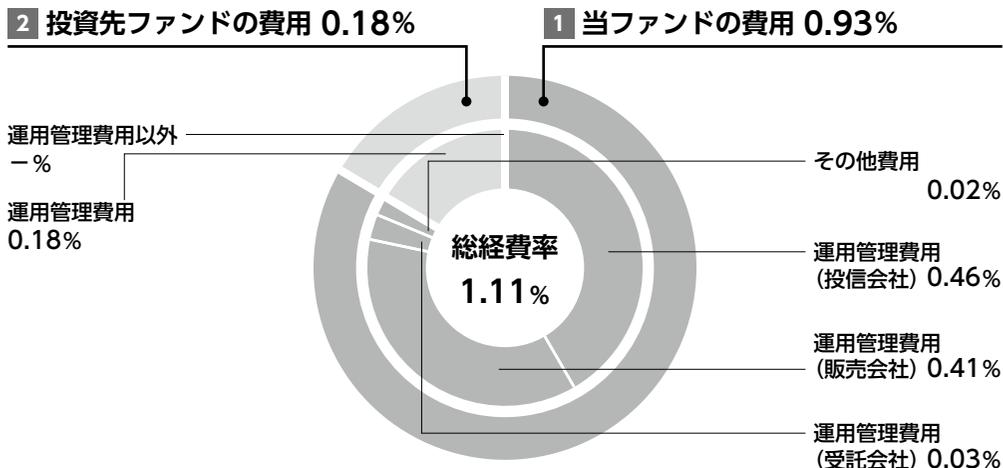
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>1.11%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>0.93%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>0.18%</b>
<b>投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>-%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.11%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付		
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額	
国 内	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	口	千円	口	千円	
		610,720	1,530,100	433,980	1,035,473	
外 国	アメリカ	iシェアーズ 世界国債（除く米国）ETF	口	千アメリカ・ドル	口	千アメリカ・ドル
		526,398	20,536	624,229	24,906	
		iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	54,529	5,241	33,254	3,046
		iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF	5,368	448	15,925	1,371
		バンガード・米国トータル債券市場ETF	298,237	21,779	229,884	16,548
		バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	14,237	691	15,188	738
		バンガード・グローバル（除く米国）不動産ETF	12,712	520	12,986	533
		バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	11,765	478	30,445	1,217
	バンガード・リアル エステイト ETF	6,002	504	4,196	333	

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
（2023年4月21日から2024年4月22日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

### ■ 組入れ資産の明細（2024年4月22日現在）

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	組入比率
NEXT FUNDS TOPIX 連動型上場投信	124,850	301,590	848,674	23.7
合計	124,850	301,590	848,674	23.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

#### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期		末	
	口数	口数	外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率
(アメリカ)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
iシェアーズ 世界国債（除く米国）ETF	97,831	—	—	—	—
iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	6,142	27,417	2,793	432,428	12.1
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建て エマージング・マーケット債券ETF	18,256	7,699	673	104,306	2.9
バンガード・米国トータル債券市場ETF	107,287	175,640	12,433	1,924,714	53.7
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	15,356	14,405	699	108,350	3.0
バンガード・グローバル（除く米国）不動産ETF	7,330	7,056	281	43,592	1.2
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	24,857	6,177	252	39,099	1.1
バンガード・リアル エステイト ETF	1,409	3,215	253	39,316	1.1
合計	278,468	241,609	17,388	2,691,808	75.0

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

### ■ 投資信託財産の構成

（2024年4月22日現在）

項目	期	末
	評価額	比率
投資信託受益証券	848,674	23.5
投資証券	2,691,808	74.6
コール・ローン等、その他	70,141	1.9
投資信託財産総額	3,610,623	100.0

※期末における外貨建資産（2,722,407千円）の投資信託財産総額（3,610,623千円）に対する比率は75.4%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=154.80円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年4月22日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	3,925,605,368円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	70,141,410
投資信託受益証券(評価額)	848,674,260
投 資 証 券(評価額)	2,691,808,192
未 収 入 金	314,981,506
(B) 負 債	338,118,102
未 払 金	318,077,732
未 払 解 約 金	4,860,071
未 払 信 託 報 酬	15,070,094
そ の 他 未 払 費 用	110,205
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	3,587,487,266
元 本	3,221,558,776
次 期 繰 越 損 益 金	365,928,490
(D) 受 益 権 総 口 数	3,221,558,776口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	11,136円

※当期における期首元本額2,619,854,195円、期中追加設定元本額921,203,774円、期中一部解約元本額319,499,193円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

（自2023年4月21日 至2024年4月22日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	48,306,909円
受 取 配 当 金	47,916,030
受 取 利 息	433,508
支 払 利 息	△ 42,629
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	268,049,785
売 買 益 損	494,546,507
売 買 損 益	△226,496,722
(C) 信 託 報 酬 等	△ 28,587,872
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	287,768,822
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3,895,600
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	82,055,268
(配 当 等 相 当 額)	( 299,149,195)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△217,093,927)
(G) 合 計(D + E + F)	365,928,490
次 期 繰 越 損 益 金(G)	365,928,490
追 加 信 託 差 損 益 金	82,055,268
(配 当 等 相 当 額)	( 299,149,195)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△217,093,927)
分 配 準 備 積 立 金	283,873,222

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	43,941,541円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	150,418,308
(c) 収益調整金	299,149,195
(d) 分配準備積立金	89,513,373
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	583,022,417
1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	1,809.75
(f) 分配金	0
1 万 口 当 たり 分 配 金	0

## ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 組入れ投資信託証券の内容（直近決算の情報）

ファンド名	バンガード・米国トータル債券市場ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	ブルームバーグ米国総合浮動調整インデックス
管理費用	年0.03%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

## ■ 組入上位銘柄（基準日：2023年12月31日）

	銘 柄 名	ク ー ポ ン	償 還 日	組 入 比 率
1	United States Treasury Note/Bond	3.75%	09/30/2030	0.9%
2	United States Treasury Note/Bond	1.875%	02/15/2032	0.5%
3	United States Treasury Note/Bond	1.375%	11/15/2031	0.5%
4	United States Treasury Note/Bond	0.75%	04/30/2026	0.4%
5	United States Treasury Note/Bond	2%	08/15/2025	0.4%
6	United States Treasury Note/Bond	4.125%	11/15/2032	0.4%
7	United States Treasury Note/Bond	2.75%	08/15/2032	0.4%
8	United States Treasury Note/Bond	3.875%	08/15/2033	0.4%
9	United States Treasury Note/Bond	3.5%	02/15/2033	0.4%
10	United States Treasury Note/Bond	2.875%	05/15/2032	0.4%
	全銘柄数		10,719銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

## ■ 費用明細（2023年1月1日から2023年12月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.03%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	ブルームバーグ・グローバル総合（米ドル除く）浮動調整RIC基準インデックス（米ドルヘッジベース）
管理費用	年0.07%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### 組入上位銘柄（基準日：2023年9月30日）

	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	Bundesschatzanweisungen	3.1%	09/18/2025	0.4%
2	United Kingdom Gilt	4.125%	01/29/2027	0.4%
3	Spain Government Bond	—	01/31/2027	0.4%
4	French Republic Government Bond OAT	—	11/25/2030	0.3%
5	United Kingdom Gilt	0.25%	01/31/2025	0.3%
6	Spain Government Bond	—	01/31/2026	0.3%
7	French Republic Government Bond OAT	—	02/25/2027	0.3%
8	French Republic Government Bond OAT	—	02/25/2025	0.3%
9	Spain Government Bond	—	01/31/2028	0.3%
10	French Republic Government Bond OAT	1%	11/25/2025	0.3%
全銘柄数			7,119銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 費用明細（2022年11月1日から2023年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.07%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス
管理費用	年0.39%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### 組入上位銘柄（基準日：2023年9月30日）

	銘柄名	比率
1	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS	0.8%
2	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	0.6%
3	BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.5%
4	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
5	ECUADOR REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS	0.5%
6	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
7	PERU (REPUBLIC OF)	0.5%
8	KAZAKHSTAN (REPUBLIC OF) MTN RegS	0.5%
9	BRAZIL FEDERATIVE REPUBLIC OF (GO)	0.5%
10	PERU (REPUBLIC OF)	0.4%
	全銘柄数	605銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 費用明細（2022年11月1日から2023年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他の費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信
形態	国内籍投資信託（円建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	TOPIX（東証株価指数）
管理費用	年0.0968%以内（税抜年0.088%以内） ※上記の信託報酬率と信託財産に属する株式の貸付にかかる品貸料の一部の合計が運用管理費用（信託報酬）となります。
運用会社	野村アセットマネジメント株式会社
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2023年7月10日）

	銘柄名	組入比率
1	トヨタ自動車	3.8%
2	ソニーグループ	2.8%
3	キーエンス	2.0%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.0%
5	日本電信電話	1.6%
6	三菱商事	1.4%
7	三井住友フィナンシャルグループ	1.4%
8	日立製作所	1.3%
9	東京エレクトロン	1.3%
10	任天堂	1.2%
	全銘柄数	2,156銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 損益及び剰余金計算書

項目	第22期 (2022年7月11日～2023年7月10日)
	金額（円）
営業収益	
受取配当金	414,308,754,442
受取利息	1,389,668
有価証券売買等損益	2,918,261,415,503
派生商品取引等損益	113,824,093,632
その他収益	19,717,369,093
営業収益合計	3,466,113,022,338
営業費用	
支払利息	33,000,767
受託者報酬	3,392,500,043
委託者報酬	8,935,173,962
その他費用	3,324,702,457
営業費用合計	15,685,377,229
営業利益又は営業損失（△）	3,450,427,645,109
経常利益又は経常損失（△）	3,450,427,645,109
当期純利益又は当期純損失（△）	3,450,427,645,109
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額（△）	—
期首剰余金又は期首欠損金（△）	5,661,632,626,495
剰余金増加額又は欠損金減少額	238,174,359,649
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	238,174,359,649
剰余金減少額又は欠損金増加額	318,635,735,150
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	318,635,735,150
分配金	418,573,310,507
期末剰余金又は期末欠損金（△）	8,613,025,585,596

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	i シェアーズ M S C I コクサイ E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	M S C I コクサイ・インデックス
管理費用	年0.26%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2023年6月30日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	APPLE INC	5.7%
2	MICROSOFT CORP	4.5%
3	AMAZON COM INC	2.3%
4	NVIDIA CORP	2.0%
5	TESLA INC	1.4%
6	ALPHABET INC CLASS A	1.3%
7	ALPHABET INC CLASS C	1.2%
8	META PLATFORMS INC CLASS A	1.2%
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	0.8%
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B	0.8%
	全銘柄数	1,272銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2022年8月1日から2023年7月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.25%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス
管理費用	年0.08%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2023年9月30日）

	銘柄名	組入比率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	5.6%
2	Tencent Holdings Ltd.	3.4%
3	Alibaba Group Holding Ltd.	2.6%
4	Reliance Industries Ltd.	1.3%
5	Meituan	1.1%
6	HDFC Bank Ltd.	1.0%
7	Petroleo Brasileiro SA	0.9%
8	Infosys Ltd.	0.9%
9	PDD Holdings Inc.	0.8%
10	China Construction Bank Corp.	0.8%
	全銘柄数	5,753銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2022年11月1日から2023年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.08%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・リアル エステイト ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	M S C I U S 投資市場不動産25/50インデックス
管理費用	年0.12%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

### 組入上位銘柄（基準日：2023年12月31日）

	銘柄名	組入比率
1	Vanguard Real Estate II Index Fund	13.2%
2	Prologis Inc.	7.7%
3	American Tower Corp.	6.3%
4	Equinix Inc.	4.7%
5	Crown Castle Inc.	3.1%
6	Public Storage	3.0%
7	Simon Property Group Inc.	2.8%
8	Welltower Inc.	2.8%
9	Realty Income Corp.	2.5%
10	Digital Realty Trust Inc.	2.4%
全銘柄数		161銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 費用明細（2023年2月1日から2024年1月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・グローバル（除く米国）不動産 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	S & Pグローバル（除く米国）不動産インデックス
管理費用	年0.12%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2023年9月30日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	Goodman Group	2.9%
2	Mitsui Fudosan Co. Ltd.	2.5%
3	Vonovia SE	2.4%
4	Daiwa House Industry Co. Ltd.	2.2%
5	Mitsubishi Estate Co. Ltd.	2.1%
6	Sun Hung Kai Properties Ltd.	2.0%
7	Emaar Properties PJSC	1.7%
8	Link REIT	1.5%
9	Sumitomo Realty & Development Co. Ltd.	1.5%
10	China Resources Land Ltd.	1.4%
全銘柄数		686銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2022年11月1日から2023年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。